

佐賀県景気動向指数

令和6年4月30日
政策部統計分析課

1 令和6年2月の動向

- ◆ 先行指数 **37.5%** …… 2か月連続で50%を下回った。
- ◆ 一致指数 **28.6%** …… 3か月連続で50%を下回った。
- ◆ 遅行指数 **33.3%** …… 6か月振りに50%を下回った。

〈個別指標の動向〉

	+ となった指標		- となった指標		保ち合い(0)	
《先行系列》 採用系列数 8 拡張系列数 3.0 指数 37.5	新設住宅着工戸数 企業倒産件数(逆) 銀行貸出残高(☆)	4か月連続 2か月振り 4か月連続	所定外労働時間数 新規求人数 鉱工業生産指数(生産財) 乗用車新車登録台数 鉱工業在庫率(生産財・逆)	3か月連続 2か月連続 3か月連続 2か月連続 2か月連続		
《一致系列》 採用系列数 7 拡張系列数 2.0 指数 28.6	就職率 大型店売上高(☆)	4か月振り 6か月振り	有効求人倍率(就業地別) 鉱工業生産指数(総合) 鉱工業出荷指数(総合) 着工建築物床面積(産業用) 輸入総額(唐津港+伊万里港)	3か月連続 3か月連続 2か月連続 6か月連続 2か月連続		
《遅行系列》 採用系列数 6 拡張系列数 2.0 指数 33.3	常用雇用指数 雇用保険受給実人員(逆)	3か月連続 5か月連続	陶磁器生産重量 消費者物価指数(☆) 鉱工業在庫指数(総合) 銀行預貸率	3か月連続 3か月連続 2か月連続 5か月振り		

(逆)は逆サイクルを示す。

(☆)は対前年同月比で、その他はセンサス局法により季節調整を行っている。

(注)・センサス局法X-12-ARIMAで季節調整をしている指標についてはデータを追加するたびに季節調整要因が変更されるため、遡及して数値が変わり変化方向が変わることがあります。

・鉱工業指数など一部の指標は補正を行うことから、同様に遡及して数値が変わることがあります。

・有効求人倍率は、平成17年1月までは「受理地別値」を使用し、平成17年2月以降は「就業地別値」を使用しています(就業地別値は、平成17年2月分からデータが公表されているため)。また、毎年1月分公表時に新季節指数に改定されることから、遡及して数値が変わり変化方向が変わることがあります。

・令和4年10月分まで先行系列の指標に用いていた「不渡手形金額」及び「手形交換金額」は、令和4年11月の電子交換所への移行に伴いデータの公表がなくなったため、令和4年11月分から、これらを除外した指標により先行指数を算出しています。なお、遡及して全期間を再計算しているため、これ以前の公表値とは数値等が異なります。

・令和6年2月分公表から、「鉱工業(生産・出荷・在庫)指数」の基準年更新により、全期間で遡及して数値を変えているため、全系列(先行・一致・遅行)において、変化方向が一部変わっています。